

科目名	国語Ⅱ	英文表記		JapaneseⅡ		平成26年3月4日		
科目コード	3002							
教員名：網谷厚子(前期)・澤井万七美(後期)						作成		
技術職員名：								
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			3年	必	履修	2単位	講義	通年
科目目標	1 基礎的な日本語を運用できる能力を身につける。 2 『徒然草』等の古典作品についての理解を深める。 3 社会で要求されるコミュニケーション能力を身につける。							
総合評価	1 小論文、小テスト得点で25％ 2 定期試験(前期) 25％ 3 後期提出物 15％ 4 小テスト(漢字・語彙) 5％ 5 定期試験(後期) 30％							
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		目標割合	
	① 基礎的な日本語を運用できる。				⇒ 小論文・小テストなどで評価する。		25%	
	② 古典作品を理解する。				⇒ 前期の定期試験で評価する。		25%	
	③ 社会で要求されるコミュニケーション能力を身につける。				⇒ 後期の提出物・小テスト・定期試験で評価する。		50%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4				
		◎		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目			55	5	30	10	100	
基礎的理解		①②	55				55	
応用力(実践・専門・融合)		①②			30		30	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		③				10	10	
主体的・継続的学修意欲				5			5	
授業概要、方針、履修上の注意	1 学生の主体的活動となる場面を数多く設定し、自己PRの作成・プレゼンテーション、様々な課題解決のための小論文、短時間での要約、文学作品の理解・創作、基本的な漢字能力をみる小テストなど、様々な言語理解活動をさせる。 2 古典作品の理解をさせるとともに、ゲーム・朗読を通して古典作品を楽しむ態度と日本文化とを身につけさせる。 3 言語・非言語両面における社会人としてのコミュニケーション能力を高める。 4 多様な文化・生活様式への想像力を持つ姿勢を育む。							
教科書・教材	『精選 国語総合』(東京書籍)・『新国語便覧』(第一学習社)・『日本語の詩学』(網谷厚子著)・教員による自主編成教材							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	自己PRを書く	2	「自己」についてリストアップする。		
2	自己PRをする	2	自己PRを書き、プレゼンテーションし相互評価する。		
3	現代の世界・日本の課題を考える (1)	2	世界・日本の解決すべき課題をリストアップする。		
4	課題の解決策について書く	2	上記についての解決策について小論文を書く。		
5	短文の要約Ⅰ	2	短文を要約し、短時間での理解力を身につける。		
6	短文の要約Ⅱ	2	同上		
7	古典作品を演じる	2	歌舞伎「外郎売」を朗読する。		
8	短詩型文学について学ぶ	2	日本文化の「俳句」「短歌」作品を学び創作する。		
9	言葉とゲームⅠ	2	「百人一首」について理解を深める。		
10	言葉とゲームⅡ	2	同上		
11	言葉とゲームⅢ	2	「百人一首」を楽しむ。		
12	現代の世界・日本の課題を考える (2)	2	解決すべき課題についての小論文を書く。		
13	『徒然草』Ⅰ	2	古典の名文と評価される章段を理解・鑑賞する。		
14	『徒然草』Ⅱ	2	同上		
15	『徒然草』Ⅲ	2	同上		
期末	期末試験	[1]	上記についての理解を確認する。		
16	ビジネス文書Ⅰ	2	ビジネス文書の概要について学ぶ。		
17	ビジネス文書Ⅱ	2	通知文・依頼文等の基本的な書式を身につける。		
18	ビジネス文書Ⅲ	2	企画書の立案プロセス・書式例について学ぶ。		
19	ビジネス文書Ⅳ	2	企画書のモデルケース・書き方のセオリーを身につける。		
20	現状分析レポートⅠ	2	複数のデータ・異なる立場の意見を比較検討し、自分の意見をショートレポートにまとめる。		
21	現状分析レポートⅡ	2			
22	現状分析レポートⅢ	2			
23	社会人スキルⅠ	2	場面別の言語運用のモデルケースを学ぶ。		
24	社会人スキルⅡ	2			
25	言語・非言語コミュニケーションⅠ	2	社会において必要な言語・非言語コミュニケーションを確認する。		
26	言語・非言語コミュニケーションⅡ	2			
27	多文化共生社会Ⅰ	2	多様な文化圏／生活様式の人々とのコミュニケーションについて考える。		
28	多文化共生社会Ⅱ	2			
29	多文化共生社会Ⅲ	2			
30	まとめ	2	後期授業内容の振り返りを行う。		
期末	期末試験	[1]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①					
②					
③					
備考欄					